

原油高騰問題

町のみなさん、こんにちは。日本共産党 支部（後援会）です。少しの間、この場所をお借りして、原油高騰の問題についての日本共産党の考えについて訴えをおこないます。ご協力お願いいたします。

みなさん

原油・灯油の値上がりで、くらしも家計も大変です。「何とかしてくれ」の声がおきています。毛布を何枚もかぶって寒さをしのいだり、夜は六時になったらストーブを止めて布団にもぐるといった状況が広がっています。多くのみなさんが「どれだけ上がるんだ」と、不安と怒りを感じているのではないのでしょうか。

農民のみなさんや漁民のみなさん、中小業者の実態も深刻です。油代が高いためハウス栽培ができない農家、船が出せない漁師、そして運輸業など、北海道を支える基幹産業からも悲鳴の声が聞かれています。

もう家計のやりくりや、会社の努力だけで解決できるものではありません。国として本格的な対策に、乗り出すべきです。

みなさん

この値上がりの大きな原因は、取引で金儲けをする具体的な投機集団が引き起こしていることにあります。政府が世界に訴えて、必要なルールを急いでつくらなければいけません。

同時に、国内では、石油元売り会社にきちんと安定供給をさせなければいけません。石油元売り六社は、この三年間で二兆円を越える利益をあげています。安く仕入れた備蓄の分が、今の値上がりでさらに利益が上がっています。政府がきびしく指導をして、もうけを今こそ国民に還元すべきではないのでしょうか。

みなさん

日本共産党は、厳しさが増す国民のくらしと中小企業の営業を守るために、政府に対して抜本的な対策をおこなうよう、強く国会で申し入れをおこないました。北海道からも交渉団をつくり、宮内聡・比例予定候補を先頭に道民の実態を訴えてきました。いま道議会や各市町村議会でも「福祉灯油」を実現せよと訴え、北海道も支援のワクを広げるようになってきています。

国民の声に押されて、政府も一定の対策を明らかにしましたが、まったく不十分です。私たちは、一致する要求で、他の党とも協力して対策を政府に迫っていきます。同時に、おおもとから打開するためには、国際的な対策と、石油元売りなどの大企業にしっかりモノが言えるようにしなければいけません。企業・団体からの政治献金を受け取らない日本共産党だからこそ、国民の立場に立ってがんばることができます。地域にお配りしているチラシをぜひ、お読みいただき、署名運動にもご協力ください。

（「しんぶん赤旗」の宣伝、感謝の言葉などを述べて宣伝を終える）